

補聴器の活用とは？

補聴器は使用する方の聴力、音の好み、耳から取り入れた音を中枢神経で処理する能力により、調整を行う必要があります。しかし、調整できる販売店などが少なく、また、補聴器を使いさえすれば聞こえるだろうという認識の甘さから、「補聴器を装用しても役に立たない」といわれることがよくあります。

補聴器の進歩はここ数年目覚ましいものがありますが、それはより良い聞こえが簡単に得られるということではありません。高性能な分、細かい設定が必要で、より高い調整技術や設定のための時間が要求されます。

また、いくら高性能の補聴器を高い技術を持った技能者が調整しようとしても、使用者がどういう状況でどういった音が聞き取れないのかなどを的確に説明できなければ調整はできません。

補聴器に関する相談をよく受けますが、補聴器を使いこなすためには、使用する方の熱意が一番大切なように思います。

これから使ってみようかと考えている方は補聴器に関する情報を集めることから始めてみてください。「補聴器愛用会」のホームページ

(<http://shibuya.cool.ne.jp/tyothpa/index.html>)などを参考にされるとよいでしょう。

平成18年3月

原田 昌彦